

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	シェア・ザ・ロード教育プロジェクト
事業主体 (連絡先)	豊丘村
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,268,090 円 (うち支援金: 951,000 円)

事業内容

シェアザロードプロジェクトの名のもとに小学生、未就学児を対象の自転車教室を開催し、元プロロードレーサー福島晋一氏の指導により、自転車を安全に走行する技術と自転車に乗る楽しさを体験してもらいました。コロナ禍の影響で小学校及び保育園のカリキュラムに組み込めなかったため、人数を限定し、募集型の親子参加イベントとして実施しました。



【小学生を対象とした自転車教室】

【目標・ねらい】

- ①村内の小学生、保育園児に自転車の楽しさを知ってもらう。
- ②自転車を安全に正しく乗り、歩行者への配慮する能力を養うことでシェアザロード精神のきっかけを作る
- ③村内住民にシェアザロード精神を認知してもらうきっかけを作る。

事業効果

- ①講師自ら子どもたちと一緒に実践することで 自転車の楽しさを 体験してもらえました。
- ②自転車の乗る技術や能力を身に着けることができたので、自分自身で移動できる距離が延びるとともに、歩行者への配慮など、シェアザロード精神を学んでもらうことができました。
(※小学1年生3名、小学4年生1名、計4名が自転車教室で自転車に乗れるようになりました。)
- ③豊丘村ケーブルテレビに取材、放映してもらい、シェアザロードプロジェクトを認知してもらうきっかけになりました。

※自己評価【 C 】

【理由】 コロナ禍において学校や保育園のカリキュラムに組み込むことが想定以上に難航し、イベント型へ計画を変更し、参加人数を大幅に減らしての開催となってしまったため。また、コロナ禍でも多くの子供たちに参加してもらう

今後の取り組み

- 教室の内容は満足のいくもので、参加者からも好評を得ましたが、村内の子ども達すべてに周知、実践までには至っておらず、定期的な開催の必要性を実感しました。
- また、自転車の乗れる子どもの技術向上もさることながら、自転車の乗れない子どもたちがいかに楽しみをもって自転車に乗れるようになるのかをさらに突き詰めていく必要があることも実感しました。
- 以下、今後の取り組み活動計画を記載します。
- ・月1回の定期開催
 - ・技術向上した子どもたちがさらに楽しめるイベントの開催
 - ・小学校のカリキュラムへ組み込む交渉の継続
 - ・年に数回村内保育園で自転車教室の開催